

# 福島正美ニュースレター



発行：立川市議会議員 福島正美  
TEL/FAX 042-522-9971

## 被災者の皆様の気持ちに寄り添い、痛みを分かち合おう

3月11日午後2時46分、東北地方を襲った東日本大震災は、想像を絶する未曾有の大災害をもたらしました。多くの人たちの命が奪われ、家族と死に別れ、家を失った方々が多数いらつしやいます。亡くなった方々に心からのご冥福をお祈り申し上げると共に、被災者の皆様の心に希望の灯りが灯り、一日も早い復興への道のりが開かれていくことを願っております。しかしそのような悲しみのどん底から這い上がり、お互い励まし合いながら必ずや再起しようと立ち上がる被災者の皆様の姿があります。海外からそんな日本人の強靱な精神力と我慢強さ、そして他者に配慮する秩序を持った行動に、称賛の聲が寄せられています。今私たちは、この避けられない現実を受け止め、今起きないとも限らない自然災害の脅威と真剣に向き合い、お互い声を掛け合い、支え合う地域づくりを進めていかなければならないと思います。これからも地域の皆様が安心して暮らせるまちの構築に全力で取り組みんでいきたいと思えます。

## 3月定例議会報告

平成23年第1回定例議会が行なわれました。

平成23年度予算案について清水市長より予算説明があり、予算特別委員会による予算審議が行なわれました。市内小中学校への冷房設備の設置、子宮頸がん及び小児用肺炎球菌ワクチン接種への助成、無認可・認証保育所利用者への負担軽減補助や旧庁舎跡地活用事業等が議決されました。立川市廃棄物処理及び再利用促進条例が改正され、資源物の持ち去り禁止の罰則が強化された他、学童保育所条例の改正により保育時間の延長が決まりました。また東日本大震災の救援対策として予備費が計上されました。

予算特別委員会では、自治会活性化策、連絡所の取扱い業務の拡充、庁内あいさつ運動の徹底による組織活性化、子ども家庭支援センターの権限強化、学校トイレ改修の順次予算化、求職中やパート勤務等の児童を預かる定期利用保育について質疑を行ないました。



# 福島正美 予算特別委員会での質疑(要旨)

今議会から、代表質問者を除く議員全員による予算特別委員会が行われました。  
主な項目として以下の点につき質疑を行いました。  
その他の項目についてはホームページをご覧ください。



## 総務費

### 連絡所の機能強化

- ・連絡所には、証明書発行だけではなく、転入・転出等各種の届出や国民健康保険、高額療養費の申請等業務の取り扱いができるよう機能の強化を図るべきである。

### 自治会の活性化と加入促進

- ・自治会への加入促進は、行政が直接市民に呼びかける啓発運動が必要。駅街頭でのキャンペーン活動や、広報での特集号の発行等を行ってはどうか。
- ・自治会加入のメリットをわかり易くアピールできる、誘いやすいしくみを考えるべき。

## 民生費

### 子ども家庭支援センターの権限強化

- ・子ども家庭支援センターでは、虐待の他、育児不安、しつけ、発達支援等の相談が増え、役割が大変高まっている。センター機能を所課として独立させ、権限を強化すべきではないか。

### 一時預かり特定保育の拡充

- ・市は民間保育園の建替えによる定員増や新園の開設に応じて一時預かり保育も増やしているが、まだ足りない状況。保育園待機児童の内、約80%がパート勤務か求職中の母親である。定期利用保育や小規模保育室等の事例を研究し、更なる拡充を図っていくべき。

## 教育費

### 学校トイレの改修

- ・学校トイレが臭く、子どもが利用し辛いという保護者の声が多い。臭いの原因は何なのか。調査を急ぎ、順次予算をつけて改修していくべきではないか。

〈答弁〉排水管に付着した尿石等による複合的要因。各学校で高圧洗浄や尿石の溶解に取り組んでいる。小規模なものは順次、大規模なものについては公共施設保全計画によって実施していく。

## 立川市は可能な限りの被災者支援に取り組みます

立川市は、東日本大震災で被災された方々に向けた支援として、義援金の受付け、救援物資の受付けと搬送、市内に避難されてきた方に対する相談窓口の開設、及び市営住宅や一時避難所の提供を行っています。

### 【義援金の受付】

受付場所：市役所本庁1階  
窓口サービスセンター  
市民会館  
錦連絡所  
他市内4ヶ所の連絡所

お振込みの場合：

口座番号：みずほ銀行(普)1544462  
口座名：東日本大震災立川市義援金

### 【救援物資の受付】

受付場所：市役所1階多目的プラザ  
受付品目：食料品のみ(パックご飯、インスタントスープ(箱入)、レトル食品、缶詰)

### 【避難者相談窓口の開設】

東日本大震災や原発事故の影響により、立川市内の親戚や知人を頼って避難された方  
担当部署：福祉総務課(地域福祉推進係)  
TEL. 042-528-4799(内線1491, 1492)

※立川市は避難者の方を対象に都営住宅と市営住宅に計73世帯の入居を受け入れています。入居に際しては市で冷蔵庫、テレビ、照明、ガステーブル、寝具の5品目を提供します。また西砂町のリサイクルセンターで、再生した家具類を避難者の皆様に無償で提供致しました。

# 旧庁舎跡地まちづくりへの事業者提案を実施!!

旧庁舎跡地周辺のまちづくりがいよいよスタートします!

解体後の広場と残された第2庁舎及びアミューたちかわを三者一体で管理運営することを条件に、民間事業者からの事業提案を募りました。既に4月4日に提案受付を締め切り、4月23日(土)の公開プレゼンテーションによって、事業者が決定されます。市は、若手芸術家の活動スペースや子育て、雨天でも利用可能な集客性のあるイベント広場等の整備を求めています。南口の核として、東京全域に情報発信できるような、賑わいと交流の拠点の創出が期待されます。



## 春を呼ぶコンサート開催

2月26日

毎年市内の障害者団体の皆様が一同に会し、歌や踊り、楽器演奏等を披露し、市民との交流を深める一大イベントです。参加者の皆様が毎年工夫を凝らし、練習を積み重ね、会場と一体となったひとときを過ごします。今年も沢山の市民が詰めかけ、ステージの皆さんに精一杯の声援を送りました。



## 皆様の声で実現しました!!

### 錦学習館の緞帳が入れ替えられました

錦学習館開館以来使われていた舞台の緞帳ですが、痛みが激しく、市民連をはじめ文化協会の方々から、取り替えて欲しいという切実なご要望がありました。昨年の9月議会の補正予算で300万の整備費が認められ、実現しました。



### 柴崎町4丁目22番地の十字路に2基のカーブミラーを設置

以前からカーブミラーが1基設置されていましたが、住宅地として分譲された為撤去されました。しかし車の行き来も多く、危険度が増したという声があり、検証した結果、東西に1基ずつ計2基のカーブミラーが設置されました。



### アミューたちかわ西側通学路に2基の街灯を設置

毎朝3小に通う子どもたちのために旗振りをされている方から、夜暗いとの要望がありました。旧庁舎跡地が間もなく整備されますが、ひとまず夜間の安全を確保しました。



# 大震災対策 公明の提案が実現、前進しました

東日本大震災で公明党は、被災地で必要とされる対策をいち早く政府に提案し、これまで多くの対策が実現しました。主な項目のいくつかをご紹介します。

## 議員歳費を3割削減し、復興財源に

**山**口代表は「国会議員歳費を3割削減して、これを被災地の復旧・復興のために役立てるべきだ」と提案。その後民主、自民など各党に連絡を取り与野党の合意づくりを一貫してリード。4月から半年間で国会議員1人当たり300万円、総額22億円の削減が決定しました。

## タンクローリーの高速道路通行を緩和

**被**災地にガソリンを輸送するタンクローリーについて、事前に発行が必要な通行許可証の発行要件を緩和し、高速道路を無条件で通行できるようにすべきと政府に求め、実現しました。



## 国家備蓄石油の大幅な取り崩し

**燃**料や電力が被災地では相当に不足していると訴え、政府は民間の石油会社に義務付けている石油の備蓄日数(70日)を2回に渡って引き下げ、合計25日分の消費量とされる1050万klの取り崩しを決定しました。

## 生コン圧送機を始めて冷却作業に投入

**福**島第一原子力発電所での懸命の放水作業では、公明党の提案で、最長58mのアームからピンポイントで放水できる「キリン」と呼ばれるドイツ製「生コン圧送機」が初投入されました。



## 民間ヘリからの救援物資投下可能に

**公**明党からの申し入れによって、航空法が柔軟に運用され、救援活動を行なう警察や消防、公共機関の依頼を受けた民間ヘリコプターによる救援物資の投下が可能になりました。



## がれき処理、全額国費で大量のがれきに頭を抱える自治体からの要望を聞き、がれき等の災害廃棄物を自治体が処理する費用について、全額国費負担とする特例措置を発表しました。



—被災者支援そして復興に向けて、公明党は全力で取り組んでいます—

## 市議会のインターネット中継がスタートしました!

昨年12月議会より、市議会のインターネット中継が始まりました。議会開催日当日は新庁舎1階のカウンターフロアで、またインターネットでは、立川市のホームページから→立川市議会→インターネット中継のページをめくれば録画で映像が配信されます。これからも市民の声がより反映される議会づくりを目指し、改革を進めて参ります。



## 市民相談いつでもお気軽にご相談下さい



福島正美まで

- 厚生産業委員会委員長
- 立川まちづくり特別委員会委員

電話:042-522-9971  
携帯:090-6545-2425  
E-Mail:mamfuns@nexyzbb.ne.jp  
URL:<http://mf2933.sakura.ne.jp>